



贈る言葉

校長 尾崎 淳一

竜北3年生にとって、**ラストウィーク**を迎えました。私は**照れ屋さん**で、うまく想いを伝えられないので、この時期にふさわしい歌を「**贈る言葉**」とします。

サヨナラを誰かに告げるたびに 僕らまた変わる 強くなれるかな
たとえ違う空に飛び立とうとも 途絶えはしない想いよ 今も胸に
僕らが分かち合う言葉がある 心から心へ言葉を繋ぐ YELL
ともに過ごした日々を胸に抱いて 飛び立つよ独りで**未来の空へ**

「YELL」

戻れぬ日々を今日も歩き続ける 今しか見えない景色の中で
生涯忘れられない日々 抱きしめ生きていく
続いてく岐路 信じたその扉 小さな一歩で開いて
辿った道に続く足跡 全て美しく

「足跡」

もうすぐ今日が終わる やり残したことはないかい
親友と語り合ったかい 燃えるような恋をしたかい
一生忘れないような**出来事**に出会えたかい
かけがえのない**時間**を胸に刻み込んだかい
旅立ちの時はいつだって少し怖いけど これも**希望のかたち**だってちゃんと分かってる
思い出に変わるのはきっと最後の最後さ 笑って「**さよなら**」を言えたらいいな

「オワりはじまり」

いつの間にか時は流れ もう今日は卒業の日 人はいつか旅立つものだけど
いつの日にかまたどこかで 会える気がするからね 輝く日々を忘れないで
今始まる**希望の道** 今日までありがとうね 思い出の校舎と別れを告げ
今新たな扉開き はるかな年月経て つぼみから花咲かせよう

「旅立ちの日に…」

暮れなずむ町の光と影の中 去りゆくあなたへ贈る言葉
悲しみこらえて微笑むよりも 涙かれるまで泣くほうがいい
人は悲しみが深いほど 人には優しくできるのだから
さよならだけではさびしすぎるから 愛するあなたへ贈る言葉

「贈る言葉」

雨の入学式から始まった、3年生の皆さんの中学校生活。最後の日を**どんな天気**で迎えられるでしょうか。「始めよければ終わりよし、終わりよければ全てよし」と言いますから、最後まで竜北3年生にふさわしく、**素敵な卒業式**を創り上げてくれることを期待しています。

右の2枚の写真ですが、上は「令和5年度入学式」の様子、下は3年を経て成長した3年生の「第49回卒業式」に向けた練習風景です。はっきり言って、本番と見間違うぐらいに、凛々しい後ろ姿ですね。当日は、**素敵な校歌**が聴けることを期待しています。竜北生全員で**心温まる卒業式**を。**「竜北生、Go!!」**



「3年生を送る会」の準備が進められ、校舎には卒業の歌が響くなど、卒業生も在校生も、「卒業」に向けて真剣に取り組んでいます。私も式の前日まで、「校長式辞」を熟考します。3年生の前に立つ最後の機会ですから……。私が泣かないように頑張ります！

(令和8年3月2日)